

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	革新的不斉触媒の最適化と新たな展開
研究代表者名 (所属・職)	柴崎 正勝（公益財団法人微生物化学研究会・微生物化学研究所・所長）

【評価意見】

新分子・物質を創り出す学術、有機合成化学は、近年目覚ましい発展を遂げてきており、日本が世界をリードしている研究領域の一つである。研究代表者による本研究の成果としては、まず、医薬品など光学活性な物質合成例が多面的に実行されていることが挙げられる。研究代表者の研究成果は、工業生産のように1品目を多量に多段階合成する場合に有効に利用されるだけでなく、開発段階で多品種を高効率合成する場合などにも有用な手法である。研究代表者は新概念「多点認識不斉触媒」として多核金属錯体からなる「協奏機能型触媒」を開発することにより、従来の考え方を超える創造的な成果を生んだ。

本研究成果の論文引用が、群を抜いて世界のトップであることは、この研究成果が学術的に高い評価を受けている証拠であり、また、抗ウイルス剤の迅速工業合成に道を開くなどの環境調和型有機合成法を通しての社会貢献にも直結したものとなっている。

さらに、研究に参画した若手研究者のうち11名が大学・研究所に職を得て研究を継続発展させていることも特筆に値するもので、当初の研究計画を遙かに超える成果であったと評価できる。